

第7編 地域活動の支援

第1章 研 修

ポイント

- ・地域保健・福祉・環境関係職員研修は、地域の課題に応じた内容を嶺南地域の企画検討委員会で企画し、一般研修と専門研修により実施した。
- ・若狭地域保健研究会は、平成26年度から、担当する市町・健康福祉センターが企画から評価までを主体的に実施できるよう、各種様式を定めて取り組むこととした。

1 地域保健福祉環境関係職員研修事業

地域特性に対応した複合的で質の高いサービスを提供できるよう、地域保健・福祉環境関係職員の資質の向上を図ることを目的に、嶺南地域で研修を企画・実施した。

研修に関して、実施計画の策定、実施および評価についての検討を行うために、嶺南地域で企画検討委員会を開催し、一般研修と専門研修を企画・実施した。（表1～4）

表1 平成26年度 嶺南地域企画検討委員会開催内容

回	第 1 回	第 2 回
開催日	平成26年4月23日	平成27年2月23日
会 場	パレア若狭 研修室	パレア若狭 研修室
出席者数	検討委員8名 事務局6名	検討委員6名 事務局5名
協議事項	平成26年度研修事業計画の検討	平成26年度研修実績の評価・検証について 平成27年度研修事業の実施について

表2 平成26年度企画検討委員（若狭地域）

No.	所 属	役 職	氏 名	備 考
1	委員長 若狭健康福祉センター	医 幹	久住 健一	健康福祉センター職員
2	小浜市健康長寿課	グループリーダー	山本 佳代子	市町（保健）関係者
3	高浜町福祉課	課長心得	村橋 誠一	市町（福祉）関係者
4	おおい町住民福祉課	課長補佐	抜井 英弥	市町（福祉）関係者
5	若狭町健康課	主査	河原 行乃	市町（保健）関係者
6	若狭健康福祉センター	次長（環境衛生）	松島 久嗣	健康福祉センター職員

表 3 一般研修実施状況

回	第1回、第2回 ※嶺南地域合同		第3回 ※嶺南地域合同
テーマ	人が集まるチラシの作り方		地域コミュニティの再生
	Part1	Part2	
目的・目標	(目的) 企画にあった媒体作成の力量形成を図る		(目的) 地域の課題解決のために行政と住民の協働の必要性を理解できる。
	参加者が、 ・持参した企画と媒体を振り返り、相手に届きたいメッセージが伝わっているのかを再確認し、他者の意見を取り入れ、媒体をよりよいものに工夫できる。	参加者が、 ・チラシの作成のコツや効果的なメッセージの伝え方のポイントを学ぶ。 ・講師のアドバイスにより、よりよい媒体が作成される。	
対象	県および市町の保健・福祉・環境・の関係職員 (原則：両日参加できる方)		県および市町の保健・福祉・環境・市民活動・教育等の関係職員
実施日	10月6日(月) 14時～16時	10月27日(月) 10時～12時	11月28日(金) 13時～15時
会場	パレア若狭 研修室	パレア若狭 研修室	福井県立三方青年の家
内容	◇グループ検討 ・対象者(ターゲット)について ・届きたいメッセージについて ・企画とPR媒体の整合性について ・その他 (講師) 若狭健康福祉センター職員	◇事例報告(12事例) ◇講師からの助言 (講師) 特定非営利活動法人 そうほうセンターさん 理事 堂前 清美氏	◇報告「ふるさと福井サポートセンターの取り組みについて」 (報告者) NPO法人ふるさと福井サポートセンター 理事長 北山 大志郎氏 ◇講義「地域コミュニティの再構築とソーシャルキャピタル」 (講師) 半農半X研究所 代表 塩見 直紀 氏
参加数	<u>15名</u> 市町 8名 県 7名	<u>14名</u> 市町 7名 県 7名	<u>19名</u> 市町 8名 県 11名

表4 専門研修実施状況

回	第1回 ※嶺南地域合同	第2回 ※嶺南地域合同	第3回 ※嶺南地域合同
テーマ	発達障害 気がかりな子への途切れない支援	認知症ケアパス作成のポイント	災害時の備え ～要支援者対策～
目的・目標	（目的）気がかりな子を地域で守り育てる。 地域で子育てを支援する関係職員が、 ・小浜市の5歳時健康相談事業をとおり、就学への途切れない支援の実際、課題を学ぶ。 ・教育側から見た、就学への途切れない支援体制の課題を学ぶ。 ・市町単位での支援体制の現状と課題を共有し、課題解決に向けた取り組みの方向性を見出す。	（目的）認知症を含む高齢者が地域で安心して生活できる。 包括支援センター職員が ・先進地事例を踏まえて、「認知症ケアパス」作成に係る意義を再認識する。 ・各市町で作成した「認知症ケアパス」を用いて、地域の認知症の実態と社会資源情報の整理を行い、地域課題を明らかにする。 ・課題解決のために、介護保険サービス等の見直しを行い介護保険事業計画に反映させる。	（目的）市町での要支援者対策が推進される。 市町の関係各課の職員が、 ・震災経験地域の取り組みを通し、市町の関係課や機関同士の連携と取り組みの実際を学ぶ ・市町間での情報交換等により課題の整理ができる ・今後、見通しを立てた取り組みにつながる
対象	県および市町の保健・福祉・保育・教育等の関係職員	県健康福祉センターおよび地域包括支援センター職員	県および市町の保健・福祉・防災対策等の関係職員
実施日	7月1日（火） 13時30分～16時	7月3日（木） 14時～16時	9月8日（月） 13時30分～15時30分
会場	県立若狭図書学習センター 講堂	パレア若狭 研修室	若狭町上中庁舎 2F 会議室
内容	◇「小浜市における5歳児健康相談をとおりして」 （講師） 杉田玄白記念公立小浜病院 小児科医長 原 慶和氏 ◇「教育機関の立場から」 （講師） 嶺南教育事務所 特別支援教育課長 松宮 弘明氏 ◇意見交換	◇「認知症ケアパス作成における先進地事例紹介」 （講師） 福井県健康福祉部 長寿福祉課 主任 沖 智子氏 ◇グループワーク ・気づきシートから見えてくる課題 ・社会資源シートの埋め込み ・課題から考える必要なサービス	◇講義 「輪島市の要配慮者対策について」 （講師） 石川県輪島市健康推進課 長寿支援室 次長 河崎 国幸氏 ◇情報交換および意見交換 ・要配慮者対策課題の解決に向けた事前調査結果
参加数	<u>78名</u> 市町50名 県14名 その他14名 （児童福祉、教育等）	<u>24名</u> 市町17名 県7名	<u>52名</u> 市町32名 県12名 その他8名（社協）

2 若狭地域保健研究会

地域において活動している保健等関係職員が、住民の健康増進を図るための総合的な保健対策が展開できるよう、関係職員による地域課題の研究、相互の研修、情報交換を実施している。平成26年度からは、担当が企画書を作成し、評価まで実施できるように様式等を定めた。

表5 平成26年度 若狭地域保健研究会

	日時・場所	内 容	担 当	参加数
第1回	5月26日（月） 若狭健康福祉センター	「保健師人材育成」 1 福井県保健師人材育成ガイドラインに基づく人材育成について 当センター 常田課長 2 グループワーク ①各所属の人材育成の現状と課題 ②今の自分の立場でできること・すべきこと ③各期に期待すること 3 今年度の地域保健研究会の持ち方について事務局から提案と意見交換	若狭健康福祉センター	23人
第2回	7月28日（月） 若狭健康福祉センター	住民の心に響くデータの見せ方を学ぶ 1 住民を対象に公表した特定健診に関するデータについて 各市町より発表 2 グループワーク ①データ公表の意義や留意点について確認 ②各市町の取組みについて、企画・実施・結果の評価を行う	小浜市	19人
第3回	10月20日（月） 若狭健康福祉センター	妊娠期の支援を考える 1 未受診妊婦やハイリスク妊婦への対応について～医療側から～ 当センター 久住医幹 2 グループワーク ①ハイリスク妊婦の把握、②各市町に聞きたいこと、 ③保健師の役割を考える	おおい町	16人
第4回	12月8日（月） 若狭健康福祉センター	「保健師人材育成Ⅱ」 1 事例管理—事例から明らかにされた課題への対応— ①事例紹介 ②課題の整理 グループワーク「課題の種類（レベル）の検討と理解」 ③課題の解決の検討 グループワーク「自分たちの部署でできること、必要な連携体制」 2 事例提供者の感想	若狭健康福祉センター	13人
第5回	1月26日（月） 若狭健康福祉センター	「データとつながる地域の生活実態の捉え方」 1 医療費や高額レセプトの実態から保健活動への活用状況の報告 2 グループワーク①事例の読みとり ②保健指導の介入時期と内容の検討 ③各市町の地域の生活実態の捉え方、個と地域の課題の捉え方について	若狭町	21人
第6回	3月16日（月） 若狭健康福祉センター	「がん検診受診率アップを題材としたスキルアップ研修会」 1 講義「ルライパスACDPって何だ？～鳥の目を持つ意義～」 福井健康福祉センター 医幹 四方 啓裕氏 2 グループワーク ①H26年度の取組みについて ②上位目標・中間目標の達成に向かって いる企画であるか 3 助言 福井健康福祉センター 医幹 四方 啓裕氏 若狭健康福祉センター 医幹 久住 健一氏 (株)キャンサースキャン 代表取締役社長 福吉 潤氏	高浜町	22人

第2章 介護保険

1 介護保険制度の現状

管内の要支援・要介護認定者は前年度より26人増加した。(表1)

表1 要支援・要介護認定者数

(単位：人)

市町名	年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
小浜市	22	107	173	293	316	235	268	175	1,567
	23	69	193	302	318	260	271	195	1,608
	24	89	219	305	321	248	281	214	1,677
	25	101	215	329	337	273	285	214	1,754
	26	126	255	296	335	269	280	192	1753
高浜町	22	24	74	100	110	68	63	60	499
	23	23	62	89	102	73	76	67	492
	24	25	78	95	112	81	71	63	525
	25	27	81	99	112	86	80	66	551
	26	31	106	86	116	80	92	54	565
おおい町	22	30	36	81	78	82	63	42	412
	23	35	44	74	74	77	76	34	414
	24	45	42	77	77	69	80	35	425
	25	49	54	86	88	70	77	49	473
	26	34	76	68	82	75	86	48	469
若狭町*	22	46	108	86	169	128	128	129	794
	23	40	119	109	191	146	132	124	861
	24	47	120	109	191	147	140	131	885
	25	47	131	121	215	151	138	131	934
	26	44	160	124	190	161	128	144	951
管内	22	207	391	560	673	513	522	406	3,272
	23	167	418	574	685	556	555	420	3,375
	24	206	459	586	701	545	572	443	3,512
	25	224	481	635	752	580	580	460	3,712
	26	235	597	574	723	585	586	438	3,738
県内	22	2,656	4,268	6,219	6,586	5,020	4,888	4,269	33,906
	23	2,885	4,236	6,432	7,013	5,254	5,220	4,352	35,392
	24	3,349	4,448	6,998	6,936	5,238	5,340	4,235	36,544
	25	3,601	4,903	7,280	7,419	5,683	5,492	4,202	38,580
	26	3,607	5,208	7,593	7,491	5,845	5,521	4,067	39,332

注1) 各年度末の状況である。

注2) *旧三方町を含む。

2 地域包括支援センター連絡会

各市町の地域包括支援センター業務の充実・強化を図ることを目的に、管内の地域包括支援センターの情報交換や勉強会の場として、平成22年10月から地域包括支援センター連絡会(管内市町と美浜町が参加)を2か月に1回開催している。(表2)

表 2 平成 26 年度地域包括支援センター連絡会実施状況

	日時・場所	内 容	担 当	参加数
第 1 回	4 月 16 日（水） 若狭健康福祉センター	平成 26 年度地域包括支援センター連絡会について 1 平成 25 年度の実施状況と評価 2 平成 26 年度地域包括支援センター連絡会について	若狭健康福祉センター	16 人
第 2 回	6 月 18 日（水） 若狭健康福祉センター	在宅医療・介護の連携推進事業についての基盤整備 1 紹介状・在宅医療に関する調査の様式（案）について 2 グループワーク ①かかりつけ医への紹介状 ②在宅医療に関する調査項目 3 意見交換	美浜町	9 人
第 3 回	8 月 20 日（水） 若狭健康福祉センター	在宅医療・介護連携推進事業の実施について 1 在宅医療に係る対応状況調査結果について 2 かかりつけ医の紹介様式と活用方法について 3 多職種による研修会等の実施について 4 地域の医療・介護関係者による協議会の開催について	小浜市	14 人
認知症担 当者連 絡会	9 月 29 日（月） 若狭健康福祉センター	認知症施策の推進について 1 認知症ケアパスの作成・普及 2 認知症初期集中支援チームの設定について 3 認知症地域支援推進員、認知症サポーター養成について 4 地域ケア会議の普及・定着について 5 その他 情報交換	おおい町	10 人
第 4 回	10 月 7 日（火） 若狭健康福祉センター	平成 27 年度の事業について 1 平成 27 年度予算対応について 2 第 6 期介護保険計画の進捗状況について 3 その他 情報交換（地域包括支援センター設置条例、多職種連携研修 等）	おおい町	10 人
第 5 回	2 月 18 日（水） 若狭健康福祉センター	平成 27 年度地域包括支援センターの運営について 1 平成 26 年度の実施状況と評価 2 平成 27 年度の計画 3 平成 26 年度 第 2 回若狭地域医療連携体制協議会につ いて 4 その他	高浜町	11 人

3 介護保険制度の推進に向けた支援

介護保険制度の推進を図るために、各市町や機関への支援を実施している。

(1) 地域ケア会議、地域包括支援センター運営協議会への支援

小浜市地域包括支援センターが開催する会議に委員として参加。

(2) 高齢者の権利擁護支援体制整備事業

各市町の高齢者虐待防止ネットワーク会議に委員として参加。

(3) 介護予防・リハビリ推進人材養成事業

若狭地域リハビリテーション支援センター（杉田玄白記念公立小浜病院）が開催する運営委員会にオブザーバーとして参加。

第3章 臨床医師研修

当センターでは、杉田玄白記念公立小浜病院の医師卒後臨床研修プログラムによる「地域保健・医療研修」を5日間受け入れている。平成25年度は4名の研修を受け入れた。(表1)

表1 臨床医師研修 受け入れ状況

期 間	人数
平成26年6月16日～20日	1人
平成26年12月8日～12日	1人
平成27年1月26日～30日	1人
平成27年3月9日～13日	1人